

やなかわ

YANAGAWA 2013. 9月1日 No.203

今号の内容

- ◆台風に備えよう 2~3
- ◆筑後七国スタンプラリーを開催 ほか 4
- ◆アスパラ収穫体験参加者募集 ほか 5
- ◆市民のひろば(6-7) ◆川柳(7) ◆図書館・水の郷ニュース、柳川百選まち歩き(8-9) ◆情報わいど(10-15) ◆がんばったね(15-16) ◆柳川にこの人あり 古賀さん親子(16) ◆もちふみデビュー(17) ◆保健ガイド(18-19) ◆新市史抄片(20)



有明海体験隊 干潟に悪戦苦闘

市教育委員会は8月20日と21日、柳川「有明海」なんてん体験隊を行いました。20日の午後からは、干潟体験を実施。初めは恐る恐る干潟に入っていた児童たちですが、時間が経つにつれて全身泥だらけになっていました。

立花鑑任の百回忌

4代藩主立花鑑任は、享保6年(1721)5月13日に柳川城で亡くなりました。享年39。法号は靈明院と言います。文政3年(1820)は、その百回忌に当たります。この百回忌法要を記録した「靈明院様百回御忌法事一件」という史料が遺っているのです。この史料をひもといてみましょう。



4代藩主立花鑑任肖像(福厳寺蔵)

4月5日には、藩の役職ごとに法事中の役割分担が指示されています。また、百回忌法要を知らせるために福岡藩へ使者を発しています。これは鑑任の正室春子が福岡藩4代藩主黒田綱政の娘であったからでしょう。



百回忌を記録した「靈明院様百回御忌法事一件」

4月13日に、法要が始まります。この年、当時の8代藩主鑑壽は参勤して江戸にいたため、藩主の代理は内膳家の立花造酒、藩主正室と桃林院(藩主鑑壽の兄鑑門の妻)の代理は家老小野勘解由、若殿(のちの9代藩主鑑賢)の代理は家老立花縫殿助がそれぞれ務めました。多くの家臣からは、香典や線香、造り花などが供えられています。

興味深いのは、この法要に際して、恩赦が行われていることです。例えば、牢につながれていた4人の受刑者が、追放となつています。また、以前追放を命じられていた4人へは、藩内の辺境での居住が認められています。このように、刑罰が1等減じられているようです。

市史編さん係 白石直樹

編集後記

●記録的な暑さが続いた夏の暑さも一段落つきぞうだ。しかしこれから台風シーズン。台風のエネルギーとなる沖縄近海の海水温は、近年になく高く、台風が発達する条件が整っているとのこと。強烈な台風には来てもらいたくないが、ほどほどの台風でひと雨欲しいところだ。(英一)

●フランスボールを買った。4年以上上広報紙の編集でパソコンと格闘していたからか、首と肩の凝りがひどく頭痛になることも。体幹を鍛えたほうが良いと、以前アドバイスを受けたのを思い出し、値段もお手ごろだったので購入。早速運動してみたが、やっぱり筋肉痛になった。(賢治)

●長崎へ海水浴に行ってきた。一度もクラゲに刺されたことがない私は、クラゲにおびえる妻を尻目に、到着するとすぐにきれいな海の中へ。夕方になり、最後にもうひと泳ぎと海に飛び込んだ途端、顔と腕に激痛が。これまでのきれいな海の思い出が、クラゲの痛みで吹っ飛んだ。(和久)

人のうごき

- 人口 70,549人 (前月比 -68)
- 男 33,383人 (-43)
- 女 37,166人 (-25)
- 出生 36人、死亡 76人
- 転入 124人、転出 152人
- 世帯数 24,915世帯 (11)